

令和2年3月期 決算短信（非連結）

令和2年5月11日

会社名 OMソーラー株式会社

本社所在都道府県 静岡県

本社所在地 静岡県浜松市西区村櫛町4601

問い合わせ先 責任者部署名 事業管理部

氏名 内山 静

TEL (053) 488-1553

1. 令和2年3月期の業績（平成31年3月21日～令和2年3月20日）

（注） 1. 本決算短信の数値は、未監査です。

2. 本決算短信の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正を行っていません。

3. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

（1）経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	千円	%	千円	%	千円	%
令和2年3月期	1,546,810	(8.0)	3,394	(-)	1,595	(-)
平成31年3月期	1,432,638	(1.9)	△39,118	(-)	△49,151	(-)

	当期純利益		1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	千円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
令和2年3月期	△88,551 ( - )		△12,398 70	—	—	0.1	0.1
平成31年3月期	△66,536 ( - )		△9,316 24	—	△90.2	△3.4	△3.4

（注）1. 期中平均株式数 令和2年3月期 普通株式 7,142株 平成31年3月期 普通株式 7,142株

2. 会計処理の方法の変更 (有)・無

3. 売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同期増減率です。なお、営業利益、経常利益、当期純利益の対前年同期増減率は、金額がマイナスである為、記載していません。

4. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため、算出を省略しております。

5. 自己資本当期純利益率につきましては、自己資本がマイナスである為、記載していません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	千円	千円	%	円 銭
令和2年3月期	1,228,336	△48,094	△3.9	△6,734 08
平成31年3月期	1,366,519	40,456	3.0	5,664 62

（注） 期末発行済株式数 令和2年3月期 普通株式 7,142株 平成31年3月期 普通株式 7,142株

### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
令和2年3月期	49,839	16,125	△81,727	24,004
平成31年3月期	28,070	101,796	△130,258	39,767

(注) 貸借対照表上の「現金及び預金」とキャッシュ・フロー計算書上の「現金及び現金同等物」との調整は以下のとおりです。

項 目 名	平成31年3月期	令和2年3月期
貸借対照表上の「現金及び預金」	39,767千円	24,004千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	－千円	－千円
現金及び現金同等物	39,767千円	24,004千円

### 2. 令和3年3月期の業績予想(令和2年3月21日～令和3年3月20日)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
	千円	千円	千円
通期	1,547,000	28,000	20,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 2,800円34銭

これらの予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

### 3. 配当状況

現金配当	1株当たり配当金(円)							配当金総額 (千円)	配 当 性 向 (%)	純資産 配当率 (%)
		第1四半期末	中間期末	第3四半期末	期末	その他	年間			
平成31年3月期	普通株式	—	—	—	—	—	—	0	—	—
令和2年3月期	普通株式	—	—	—	—	—	—	0	—	—
令和3年3月期 (予想)	普通株式	—	—	—	—	—	—	0	—	—

### 4. コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及びその施策の実施状況

#### (1) コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は公正かつ効率的な経営に取り組むにあたり、コーポレート・ガバナンスが重要な課題であると認識しております。そのため、経営の意思決定の内容及び過程を明確にし、利害関係者の意思や利益を適切に反映していくように努めております。

#### (2) コーポレート・ガバナンスに関する施策の実施状況

当社の取締役会は、平成31年3月現在4名により構成し、会社法に定められた取締役会に加え、執行役員会議の開催をしており、法令で定められた事項や経営に関する重要事項を決定するとともに、業務執行の状況を逐次監督しております。

また、当社は非公開会社となりましたが、引続きこれまでの会計監査を継続すると共に、株主をはじめとしたステークホルダーに対して経営情報の公正な開示を目的として、四半期ごとの決算データ開示を中心とした情報開示に努めて参ります。但し、証券取引所の開示ルールに則ったものではなく、私的な開示であることにご留意下さい。

## 5. 反社会的勢力との関係排除への仕組みとその運用状況

### (1) 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

当社は、市民生活の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会生活の発展を妨げる反社会的勢力に対しては毅然とした態度で組織的に対応しております。

### (2) 反社会的勢力排除に向けた整備状況

#### ①対応部署の設置

事業管理部を対応部署とし、不等要求などの事案ごとに関係部門と協議し、対応します。

#### ②反社会的勢力に関する情報の収集管理

反社会的勢力に関する情報を収集し一元管理するとともに、反社会的勢力に該当するかの確認を行っております。

令和2年5月11日

## 第22期 決算速報

(平成31年3月21日～令和2年3月20日)

会社名 (定款上の商号) OMソーラー株式会社  
 英文名 (英文商号) OM Solar, inc.  
 代表者の役職氏名 代表取締役 飯田 祥久  
 本店の所在の場所 静岡県浜松市西区村櫛町 4601  
 電話番号 053-488-1553  
 連絡者 事業管理部 内山 静

### I 当期の業績

#### (1) 損益計算書

(単位：千円)

科目	第21期 自平成30年3月21日 至平成31年3月20日		第22期 自平成31年3月21日 至令和2年3月20日	
	金額	構成比	金額	構成比
		%		%
I 売上高	1,432,638	100.0	1,546,810	100.0
II 売上原価	985,661	68.8	1,087,404	70.3
売上総利益	446,977	31.2	459,406	29.7
III 販売費及び一般管理費	486,095	33.9	456,011	29.5
営業利益又は損失(△)	△39,118	△2.7	3,394	0.2
IV 営業外収益	3,321	0.2	8,997	0.6
V 営業外費用	13,354	0.9	10,797	0.7
経常利益又は損失(△)	△49,151	△3.4	1,595	0.1
VI 特別利益	10,460	0.7	-	0.0
VII 特別損失	27,549	1.9	89,850	5.8
税引前当期純利益又は純損失(△)	△66,240	△4.6	△88,255	△5.7
法人税、住民税及び事業税	296	0.0	296	0.0
当期純利益又は純損失(△)	△66,536	△4.6	△88,551	△5.7

※ 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第 21 期	第 22 期
		自平成 30 年 3 月 21 日 至平成 31 年 3 月 20 日	自平成 31 年 3 月 21 日 至令和 2 年 3 月 20 日
期 中 平 均 株 式 数		7,142 株	7,142 株
1 株 当 たり 当 期 純 利 益		△9,316 円 24 銭	△12,398 円 70 銭
潜在株式調整後 1 株当たり 当 期 純 利 益		—	—

※ 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益につきましては、潜在株式は存在しますが、当社株式は非上場・非登録であり、期中平均株価の算定が困難なため、算出を省略しております。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業部門	第 21 期		第 22 期	
	金 額	構成比	金 額	構成比
期 別	自平成 30 年 3 月 21 日 至平成 31 年 3 月 20 日		自平成 31 年 3 月 21 日 至令和 2 年 3 月 20 日	
O M 会 員 事 業	1,012,746	70.7	1,154,412	74.6
フロンティア事業	102,838	7.2	212,046	13.7
メンテナンス事業	194,165	13.6	96,688	6.3
施設建築事業	65,959	4.6	46,626	3.0
技 術 事 業	12,659	0.9	—	0.0
太陽光発電事業	31,454	2.2	27,279	1.8
そ の 他 事 業	12,814	0.9	9,757	0.6
合 計	1,432,638	100.0	1,546,810	100.0

※ 上記金額には、消費税は含まれておりません。

(3)貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	第 21 期 (平成 31 年 3 月 20 日現在)		第 22 期 (令和 2 年 3 月 20 日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
( 資 産 の 部 )		%		%
I 流 動 資 産				
1. 現 金 及 び 預 金	39,767		24,004	
2. 受 取 手 形	—		—	
3. 売 掛 金	245,941		270,144	
4. 商 品	291,655		217,269	
5. 未 収 入 金	1,396		3,562	
6. 短 期 貸 付 金	71,550		71,550	
7. そ の 他 流 動 資 産	38,222		34,902	
8. 貸 倒 引 当 金	△9,102		△2,600	
流 動 資 産 合 計	679,430	49.7	618,834	50.4
II 固 定 資 産				
1. 有 形 固 定 資 産				
(1) 建 物	292,099		260,186	
(2) 建 物 付 属 設 備	22,286		19,727	
(3) 構 築 物	12,431		10,870	
(4) 機 械 及 び 装 置	142,800		125,233	
(5) 工 具 器 具 備 品	2,675		1,291	
(6) 一 括 償 却 資 産	788		440	
(7) リ ー ス 資 産	17,573		11,695	
有 形 固 定 資 産 合 計	490,655	35.9	429,446	35.0
2. 無 形 固 定 資 産				
(1) 借 地 権	37,071		37,071	
(2) ソ フ ト ウ ェ ア	35,335		19,956	
(3) 電 話 加 入 権	2,770		2,770	
無 形 固 定 資 産 合 計	75,177	5.5	59,798	4.9
3. 投 資 そ の 他 の 資 産				
(1) 投 資 有 価 証 券	1,500		1,500	
(2) 出 資 金	1,010		10	
(3) 子 会 社 株 式	9,900		9,900	
(4) 長 期 貸 付 金	2,143		2,143	
(5) 差 入 保 証 金	11,977		6,979	
(6) 敷 金	20,143		20,143	
(7) 積 立 保 険 料	57,840		65,179	
(8) 長 期 前 払 費 用	16,740		14,400	
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	121,255	8.9	120,256	9.8
固 定 資 産 合 計	687,089	50.3	609,501	49.6
III 繰 延 資 産				
社 債 発 行 費	—	0.0	—	0.0
繰 延 資 産 合 計	—	0.0	—	0.0
資 産 合 計	1,366,519	100.0	1,228,336	100.0

※ 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科 目	第 21 期 (平成 31 年 3 月 20 日現在)		第 22 期 (令和 2 年 3 月 20 日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
( 負 債 の 部 )		%		%
I 流 動 負 債				
1. 買 掛 金	182,350		234,198	
2. 短 期 借 入 金	123,000		137,000	
3. 未 払 金	39,503		39,277	
4. 前 受 金	501		—	
4. 未 払 消 費 税	23,708		10,178	
5. 未 払 法 人 税 等	296		296	
6. 預 り 金	3,765		3,589	
7. 仮 受 金	102		218	
8. 未 払 配 当 金	349		340	
9. 賞 与 引 当 金	11,442		11,902	
流 動 負 債 合 計	385,021	28.2	437,002	35.6
II 固 定 負 債				
1. 長 期 借 入 金	587,558		498,188	
2. リ ー ス 債 務	18,979		12,630	
3. 預 り 保 証 金	323,564		317,670	
4. 役 員 退 職 給 与 引 当 金	10,940		10,940	
固 定 負 債 合 計	941,041	68.9	839,428	68.3
負 債 合 計	1,326,063	97.0	1,276,430	103.9
( 純 資 産 の 部 )				
I 株 主 資 本				
1. 資 本 金	100,000	7.3	100,000	8.1
2. 資 本 剰 余 金				
資 本 準 備 金	357		357	
そ の 他 資 本 剰 余 金	6,636		6,636	
資 本 剰 余 金 合 計	6,993	0.5	6,993	0.6
3. 利 益 剰 余 金				
(1) 利 益 準 備 金	357		357	
(2) そ の 他 利 益 剰 余 金				
繰 越 利 益 剰 余 金	△66,893		△155,445	
利 益 剰 余 金 合 計	△66,536	△4.9	△155,088	△12.6
株 主 資 本 合 計	40,456	3.0	△48,094	△3.9
純 資 産 合 計	40,456	3.0	△48,094	△3.9
負 債 ・ 純 資 産 合 計	1,366,519	100.0	1,228,336	100.0

※ 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

期 別	第 21 期 (平成 31 年 3 月 20 日現在)	第 22 期 (令和 2 年 3 月 20 日現在)
発行済株式総数	7,142 株	7,142 株
1 株当たり純資産額	5,664 円 62 銭	△6,734 円 08 銭

(4) 株主資本等変動計算書

(前事業年度 自平成 30 年 3 月 21 日 至平成 31 年 3 月 20 日)

(単位：千円)

項目	株主資本					株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本 準備金	その他 資本剰余金	利益 準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	
平成 30 年 3 月 21 日残高	214,355	357	46,623	357	△154,699	106,993
事業年度中の変動額	△114,355		△39,986		154,341	
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当に伴う 利益準備金の積立	—	—	—	—	—	—
当期純利益	—	—	—	—	△66,536	△66,536
事業年度中の変動額合計	△114,355	—	△39,986	—	87,805	△66,536
平成 31 年 3 月 20 日残高	100,000	357	6,636	357	△66,893	40,456

(当事業年度 自平成 31 年 3 月 21 日 至令和 2 年 3 月 20 日)

(単位：千円)

項目	株主資本					株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本 準備金	その他 資本剰余金	利益 準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	
平成 31 年 3 月 21 日残高	100,000	357	6,636	357	△66,893	40,456
事業年度中の変動額						
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当に伴う 利益準備金の積立	—	—	—	—	—	—
当期純利益	—	—	—	—	△88,551	△88,551
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	△88,551	△88,551
令和 2 年 3 月 20 日残高	100,000	357	6,636	357	△155,445	△48,094



(5)重要な会計方針

期 別 項 目	第 22 期 自平成 31 年 3 月 21 日 至令和 2 年 3 月 20 日
1. たな卸資産の評価基準及び評価方法	商品 移動平均法による原価法
2. 固定資産の減価償却の方法	(1) 有形固定資産 平成 28 年 4 月 1 日以前に取得した有形固定資産については定率法を、平成 28 年 4 月 1 日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。 (2) 無形固定資産 販売目的ソフトウェアは、見込み販売数量に基づく方法又は残存有効期限（3 年以内）に基づく定額法によっており、自社利用ソフトウェアについては、社内における利用可能期間（4 年）に基づく定額法によっております。
3. 引当金の計上基準	(1) 貸倒引当金 債権の貸倒れの損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。 (2) 賞与引当金 従業員に対する賞与の支払いに備えるため、支給見込額基準により計上しております。
4. リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
5. その他の財務諸表作成の為の重要な事項	消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

(7) 表示方法の変更

該当事項はありません。

## II 第22期(平成31年3月21日～令和2年3月20日)の業績の概況

当事業年度における当社の状況は、主力商品のOM・OMX・パッシブエアコンの受注が好調で、更にシミュレーション代行や設計サポートの受注が増えたことから、売上高1,546百万円(前期比8%増)、営業利益3,394千円、経常利益1,595千円と、経常利益ベースで黒字となりました。

会員事業部におきましては、下期から全国でOMXを導入した多数のモデルハウスのオープンと見学会が開催され、それに合わせて訪問回数を増やし、OMのシミュレーションスキルを活用したプレゼン勉強会の開催、OMX導入促進の為にフォローアップ研修、意見交換会等を開催し、本格的なOMXの販売体制が整ってきております。また、関東・関西にてOMXの見学をベースとした新入会セミナーを開催し、有力な大口工務店1社の入会が決まりました。以上のことから、売上高は、1,154百万円(前期比14%増)となりました。

フロンティア事業部におきましては、下期にかけて大口先の受注が軌道に乗ってきたことから、売上高は、212百万円(前期比106.2%増)と前年同期の2倍以上の売上となりました。引き続き建材メーカーとのコラボセミナーや、夏と冬の一斉体感見学会による開催が好調で、新規取引先数が増加しており、今後も受注増加が見込まれます。

メンテナンス事業部におきましては、OMXをはじめクワトロソーラーやパッシブエアコンの設置工事サービスの受注が増加しておりますが、メンテナンス部材の売上を会員事業部へ主管を移したことにより、売上高は、96百万円(前期比△50.2%減)となりました。

販売費及び一般管理費におきましては、人件費(△15,005千円)と減価償却費(△15,781千円)の減少により、456,011千円(前期比6.2%減)となりました。

特別損失には、これまで説明してきた通り取り扱い終了後10年以上が経過したメンテナンス部材の一括処分(85,850千円)、開発中止となったIOTを活用した家のオペレーションシステムの開発費の一部(4,000千円)が計上されております。

以上の結果、売上高1,546,810千円(前年売上高1,432,638千円)、営業利益3,394千円(前年営業利益△39,118千円、経常利益1,595千円(前年経常利益△49,151千円)、当期純利益△88,551千円(前年純利益△66,536千円)となりました。

来期以降もOMXの受注増加と、減価償却費の減少により、黒字となる見込みです。

### Ⅲ 第23期通期の売上高及び利益の予測について

(単位：千円)

科目 \ 期別	第22期(実績) 平成31年3月21日 令和2年3月20日	第23期(予想) 令和2年3月21日 令和3年3月20日
売上高	1,546,810	1,547,000
営業利益又は営業損失(△)	3,394	34,000
経常利益又は経常損失(△)	1,595	28,000
当期純利益	△88,551	20,000

### Ⅳ 資金及び借入金の状況

#### (1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

科目 \ 期別	第21期 自平成30年3月21日 至平成31年3月20日	第22期 自平成31年3月21日 至令和2年3月20日
現金及び預金の増減額	△391	△15,762
現金及び預金の期首残高	40,159	39,767
現金及び預金の期末残高	39,767	24,004

増減の理由：

主な増加要因は、買掛金の増加51,847千円、短期借入金の増加20,000千円、相生市の太陽光発電の売電収入25,664千円などによるものです。主な減少要因は、借入金の約定返済98,322千円、売掛金の増加24,203千円によるものです。

#### (2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

科目 \ 期別	第21期 自平成30年3月21日 至平成31年3月20日	第22期 自平成31年3月21日 至令和2年3月20日
短期借入金の増減額	△6,000	14,000
短期借入金の期首残高	129,000	123,000
短期借入金の期末残高	123,000	137,000

増減の理由：

主な増加要因は、新規借入20,000千円によるものです。主な減少要因は、約定返済6,000千円によるものです。

(3)長期借入金の増減

科 目	期 別	第 21 期	第 22 期
		自平成 30 年 3 月 21 日 至平成 31 年 3 月 20 日	自平成 31 年 3 月 21 日 至令和 2 年 3 月 20 日
長 期 借 入 金 の 増 減 額		△117,744	△89,370
長 期 借 入 金 の 期 首 残 高		705,302	587,558
長 期 借 入 金 の 期 末 残 高		587,558	498,188

増減の理由：

主な減少要因は、約定返済 92,322 千円によるものです。

V その他

該当事項はありません。